

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 2022 年 11 月 29 日

設置・運営主体	所沢市		
設置主体	社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会		
経営主体	社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会		
事業所名 (施設名)	所沢市立こあふる	種別	生活介護事業所
所在地	〒 359-1164 埼玉県所沢市三ヶ島5-828-6		
電 話	04-2938-1500		
FAX	04-2938-1502		
Email	corefull@mug.biglobe.ne.jp		
URL			
施設長氏名	遠藤 里香		
調査対応担当者	早川 瑛 (所属、職名： 所沢市立こあふる 主査)		
利用定員	20 名	開設年	平成 9 年 4 月 1 日
理念・基本方針			
<p>1. 使命 「市民が一緒につくる！健やかに 自分らしく暮らせる 支え合う 心やさしいまち」</p> <p>2. 運営理念 ①住民参加・協働による福祉社会の実現 ②地位における利用者本位の福祉サービスの実現 ③地域に根差した総合的な支援体制の実現 ④地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦</p> <p>3. 運営方針 ①地域に開かれた組織として運営の透明性と中立性・公正さの確保を図ると共に、情報公開や説明責任を果たす。 ②事業の展開にあたって住民参加を徹底する。 ③事業の効果測定やコストの把握等の事業評価を適切に行い、効果的で効率的な自律した経営を行う。 ④全て役職員は高潔な倫理を保持し、法令を遵守する。</p> <p>4. 行動指針 「ささえる つながる みつげだす 所沢社協」</p> <p>5. こあふる (運営の理念) 一人ひとりの利用者に対し人としての尊厳を守り、個々のニーズを考慮した個別支援計画のもと、こあふるでの充実した日中の生活を送ることができるよう支援する。また、地域の人達と共に行動し情報発信を行うことで、地域の福祉資源として地域の人達から必要とされる施設づくりを目指す。</p> <p>6. こあふるの基本方針 ①利用者の意思決定を支える支援 ②利用者やご家族が将来を展望できる支援 ③利用者が安心して通える環境づくり</p>			
開所/退所時間 (通所施設のみ)	午前8時30分～午後4時30分		

【利用者の状況に関する事項】

○利用者の年齢

18歳未満	18～20歳未満	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満
名	名	3名	1名	3名	7名
40～45歳未満	45～50歳未満	50～55歳未満	55～60歳未満	60～65歳未満	65歳以上
3名	1名	名	1名	1名	名
合 計					20名

○障害等の状況

・身体障害（障害者手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

障害区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級
視覚障害	名	名	名	名	名	名	名
聴覚又は平衡機能の障害	名	名	1名	名	名	名	名
音声・言語、そしゃく機能の障害	名	名	名	名	名	名	名
肢体不自由	8名	名	1名	名	名	名	名
内部障害（心臓・腎臓、ぼうこう他）	名	名	名	名	名	名	名
重複障害（別掲）	名	名	名	2名	名	名	名
合 計	8名	名	1名	2名	名	名	名

※区分が異なる複数障害で等級の認定がなされている場合は「重複障害」に記入ください。

・知的障害（療育手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

A ※	B	C
18名	名	名

※「A」には丸付きのAを含む。

・精神障害（精神障害者保健福祉手帳を所持している利用者についてご記入ください。）

精神疾患の区分	1級	2級	3級
統合失調症	名	名	名
そううつ病	名	名	名
非定型精神病	名	名	名
てんかん	名	名	名
中毒精神病	名	名	名
器質精神病	名	名	名
その他の精神疾患	名	名	名
合 計	名	名	名

○要介護区分の状況（介護保険対象サービス事業所のみご記入ください。）

自立・要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
名	名	名	名	名	名

○サービス利用期間の状況

～6か月未満	6か月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年
名	名	名	1名	1名	1名
5年～6年	6年～7年	7年～8年	8年～9年	9年～10年	10年～11年
1名	名	名	2名	名	名
11年～12年	12年～13年	13年～14年	14年～15年	15年～16年	16年～17年
名	名	名	名	2名	名
17年～18年	18年～19年	19年～20年	20年以上		
2名	3名	2名	5名		

(平均利用期間： 15.9年)

【職員の状況に関する事項】

	総数	施設長	事務員	主任指導員	指導員
常勤	7名	1名	名	1名	2名
非常勤	10名	名	2名	名	6名
	主任介護職員	介護職員	保育士	看護師	OT、PT
常勤	名	名	名	2名	名
非常勤	名	名	名	名	名
	栄養士	介助員	調理員等	医師	その他
常勤	名	名	名	名	1名
非常勤	名	名	名	1名	1名

○他の有資格者数

社会福祉士	1名 (名)
介護福祉士	5名 (2名)
精神保健福祉士	名 (名)
保育士	名 (名)
ヘルパー1級	名 (名)
ヘルパー2級	名 (2名)
看護師	2名 (名)

(非常勤職員の有資格者数は () に記入)

【本来事業に併設して行っている事業】

(例) 救護施設における通所事業 (定員5名)

- ・特になし

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

- ・令和4 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

16人

- ・ボランティアの業務

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため受け入れを中止してきましたが、令和4年5月から感染対策をしながら一部再開しています。ただし、新規の受け入れはしていません。
- ・月1回の書道活動と年1回の書道展への協力
- ・余暇活動への協力 (手品を披露)
- ・夏のボランティア体験in所沢への受入では、主に環境整備
- ・縫製作業 (こあふるで用意した布を持ち帰って小袋を製作する作業)

【実習生の受け入れ】

- ・令和4 年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士	人
介護福祉士	人
その他	4人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

(1) 建物面積	407.34 m ²	
	入所(通所)者1人あたり	20.36 m ² (延べ床面積÷定員)
(2) 耐火・耐震構造	耐火 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
	耐震 <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ	
(3) 建築(含大改築)年	平成	9年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

- ・年3回、個別支援計画に関する利用者及び家族面談を計画し、個々に説明する時間を設けて意見や要望等を聴取し、サービス管理責任者を中心として協議・調整して日々の支援や活動に繋げています。ただし、コロナ禍であることから、家族からの要望に応じて電話を使用した面談も受け付けています。この場合、電話のスピーカーホンを活用して、複数の職員で聞き取りができるよう配慮しています。
- ・年度末には利用者の個別面談を実施し、次年度の活動内容について聞き取りを行い個別支援計画に反映させています。言葉を介してのコミュニケーションが難しい利用者には、写真や現物、タブレット等を活用して表情や仕草等から推測できるように配慮しています。また、家族から家庭の様子を聞き取りながら、できる限り利用者の要望に近づけるように対応しています。
- ・日々の取り組みとして、家族との連絡ノート等を活用し、必要に応じて質問や意見に対応しています。
- ・利用者が自分の思いを発表する場として毎週金曜日午後利用者集会を設定しています。その中で給食メニューや活動の希望等を適宜職員が支援しながら発表しています。
- ・令和元年度から毎年「嗜好調査」を実施し、その結果を給食献立表に反映させています。また、令和3年度から「選択メニュー」を実施し利用者満足度に繋げています
- ・令和3年度から年1回「利用者満足度調査」を実施しています。
- ・年3回の家族会を計画していますが、コロナ感染症予防のため、家族会代表者と調整して書面で活動報告を行っています。書面配布後、質問等は随時受付を行い対応をしています。
- ・法人としては「社会福祉法人所沢市社会福祉協議会福祉サービスの適正運営に関する規程」に基づき苦情解決の体制整備を定めています。

【その他特記事項】

- ・平成31年4月から5年間、所沢市から指定管理者として指定を受けています。今年度は4年目になります。開所以来、利用者一人ひとりの尊厳を守り、こあふるで充実した日中の生活が過ごせるような活動の展開と支援、地域に根差した施設づくりを目標に運営してきました。
- ・令和元年度からは、新型コロナウイルス感染症と日中活動の両立を目指して、利用者や家族、職員、関係機関、ボランティアや地域住民等の協力のもと感染症対応を実施しながら活動を進めてきました。感染症予防のため活動場所や活動人数等に制限が生じますが、その都度工夫しながら計画・調整をしています。今年度に入り少しずつ地域行事が再開され、今のところ自主生産品販売という形で参加しながら感染状況を見ているところです。今後は、利用者の参加も検討していく予定です。
- ・平均年齢は36.9歳ですが、平均障害支援区分5.5と重度の知的障害や重複障害の利用者が在籍し年々機能低下が見られ、介助の度合いが増えてきています。家族の高齢化も伴い、将来的な展望を見据え関係機関との連携がますます重要になっていくことが予想されます。
- ・建物の老朽化に伴い修理修繕箇所が増えてきていますので、所沢市役所福祉部障害福祉課と調整しながら適宜対応しています。
- ・特別支援学校に在籍している医療的ケアの児童・生徒が年々増えてきていることから、卒業後の進路先としての受入を予測した事業運営が求められてきています。

【第三者評価の受審状況】

・合計受審回数 前回の受審時期

6 回 令和2 年度)